

第1期（2017年12月8日から2018年5月31日まで）事業報告書

株式会社豊かな丘は、平成27年（2015年）5月11日の第1回村の駅（仮称）開設準備委員会開催以来、委員の皆さま始め多くの皆さまから貴重なご意見をいただきながら検討を重ね、平成29年（2017年）12月8日に発起設立されました。以降、平成30年2月21日の豊丘村議会第1回臨時会において、道の駅「南信州とよおかマルシェ」の施設の指定管理者について、平成30年（2018年）4月1日から5年間、当社が指定管理者となる議案が可決され、また、当社定款第5条に規定する乙種類株式を900株募集し、並行してスタッフの募集・採用決定や許認可手続きほかの、諸準備を進めてまいりました。

4月1日からは現地で開業準備を進め、4月27日にグランドオープンいたしました。天候にも恵まれ、ゴールデンウィークに合わせての開店としたため、初日、2日目にあっては、竜東一貫道路が渋滞をするほどの賑わいとなり、パルムと直売所のレジを通過した客数から推計すると1日あたり1万2、3千人の方がとよおかマルシェをご利用いただきました。

オープン効果とゴールデンウィークが重なり、地元のお客様のほか、県内・他県の方も多く来店され、連休後半も同じ推計からすれば、毎日豊丘村の人口に匹敵するほどのお客様にお越しいただきました。

5月中旬以降は、平常の営業になってきましたが、土日は混んだ状況が続きました。

① 四季彩市場

オープン当初から出荷者の皆さんには沢山の農産物を出荷いただいた中であって、県内・他県の方も多く来店され商品が品薄状態になりましたが、5月中旬以降は地元のお客様中心のご利用になり、比較的安定的に商品が棚に並ぶようになりました。

利用者の利便性を考慮しパルムとの共通レジを採用しました。また見込み利用客の状況を生産者や納入業者へ事前にメールで配信することで、開店時間前に加え午後のお荷にもご協力いただきました。

5月下旬からは農産物等のショッピングを目的とした観光バスの立ち寄りプランを獲得でき、観光バスが毎日来館しました。その台数は、5月は12台、第2期初月の6月には206台に達し、今までこの地域にない新たな需要を生み出しています。それに伴い、出荷生産者の登録数も300名を超え、安定して多くの農産物を出荷していただく体制づくりを引き続き進めております。

② ベーカリーカフェきらら

生地から手づくりの焼きたてパンはオープン当初、手づくりで出来る製造数の限界を大きく上回る来店客があり品不足が続いておりました。パンの安定的な製造数確保のため、生地分割まるめ機を村手配で発注いただき6月上旬より運用予定です。導入後は閉店近くまで提供できるようになります。

長門牧場のソフトクリーム、市田酪農の牛乳をつかったアイスクリームの販売数は順調に推移しています。

③ kitchen そらら

1品1品手づくりのレストラン「kitchen そらら」もオープン当初、混雑しましたが、平常営業になった現在は、待ち時間も少なく地元のお客様に気軽にご利用いただけるようになりました。

また、採用難からスタッフの休日確保が難しく、暫定的に5月17日から毎週木曜日を店休日として設定しました。スタッフ募集は引き続き継続して行ってまいります。

オープンしてわずか1ヶ月余りですので、手探り状態ではありますが、常に変化のある店づくりを目指して進めてまいりました。

今後は「東海じゃらん」、「東海ウォーカー」、「長野 komachi」などの特集記事に掲載するなど県内や中京圏を中心とした地域へのPRに努め、地域外からの集客も強化してまいります。